

# 第65次 技術教育・家庭科教育全国研究大会

主催：産業教育研究連盟 後援：奈良県教育委員会 奈良市教育委員会  
奈良女子大学 奈良女子大学附属中等教育学校

大会テーマ 「巧みな手、科学する頭、くらしと社会を支える力を育む技術教育・家庭科教育」



会場 **奈良女子大学**

〒630-8506 奈良市北魚屋東町(近鉄奈良駅下車徒歩5分)

日程・時程 **2016年8月5日(金)～8月7日(日)**

日 時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
8/5(金)	(受付)						実践講座A 実践講座B		連盟 総会		
8/6(土)	受付	はじめの 全体会	分科会A ①電気・機械・情報 ②食と農	昼食	分科会A ③加工・もの作り	教材・教具 発表会	匠塾(実技コーナー)			交流会	
8/7(日)	分科会B (ラウンドテーブル方式)			昼食	特別講座	全体会					

\* 準備の都合上、交流会は、大会参加申し込みの際に参加の有無の記入が必要となります。

産業教育研究連盟(略称 産教連)は技術教育・家庭科教育にかかわりのある小・中・高・大学の教員や学生などで運営している民間教育研究団体です。

ホームページ(<http://www.sankyoren.com>)で日常の活動を公開しています。

会場

近鉄奈良駅



## 大会の研究の柱

1. 現行学習指導要領の内容を実践的に検討し、教科として子どもに真につけさせたい力を探ります。
2. 子どもをひきつける教材についてさまざまな角度から検討し、魅力ある授業の内容と方法を探ります。
3. 今の技術教育・家庭科教育の問題点について情報交換し、中教審審議・学習指導要領改訂に向けて意見を集約します。

## 実践講座 5日(金)14:30~17:00

### A: 「奈良時代の加工技術」

#### — 木を切る・削る・測る —

お寺や神社の床や柱には、波打ったような小さな削り跡を見ることがあります。今の台かんなが考え出される前に、「手斧(ちょうな)」や「槍かんな」などの削り道具が使用された痕跡です。このような古代の道具の特徴や実際の使用に関する話を、奈良県文化財保存事務所の方にしていただく予定です。

その後、木材の加工技術の勘所を経験豊富な教員に実技を交えながらしていただく予定です。

### 【分科会A】

#### ①電気・機械・情報 6日(土)10:30~12:00

電気・機械・情報などの工学分野の学習は技術教育として欠かせません。技術・科学の原理を生かし、生産技術についての理解を広げるための基礎・基本とは何か、生徒の理解を促すにはどのように指導するのがよいか、具体的な実践を出し合って検討します。

#### ②食と農 6日(土)10:30~12:00

作物を栽培し、加工して食べるということは、生きるための最も基本的な技術です。限られた授業時間数でどんな授業ができるか、その実践例を検討します。

具体的には、栽培・収穫から加工・調理までの学習過程、1時間で調理実習を行う工夫、授業での地域の人材の活用などを取り上げる予定です。

#### ③加工・ものづくり 6日(土)13:00~14:30

材料に働きかけてものを作りながら学ぶ授業は、技術教育・家庭科教育に欠かせません。真っ直ぐに線を引いて切ることすら難しくなっている今の子どもに、何をどのように教えていけばよいのか、悩みは尽きません。道具や機械の安全な使い方、教材やその選定の視点など、具体的な実践を出し合うなかで検討します。

### B: 「悩みを解決 — 実習の勘所」

1時間の調理実習に適する教材は？ 実習の準備や段取りはどうする？ 衣生活・住生活での実習教材にふさわしいものは何？ 男子も女子も取り組みやすい教材は？ 手縫いとミシンがけのどちらを選ぶ？ 保育実習の事前準備はどうすればよい？ おもちゃなどを作って持って行ったほうがよい？

授業を進めていくなかでのこうした悩みをそれぞれ出し合い、解決のためのヒントを見つけてみませんか。

### 【分科会B】(ラウンドテーブル方式)

7日(日)9:30~12:30

複数のグループに分かれ、少人数で意見交換することにより、中味の濃い議論をめざします。次のようなテーマを取り上げます。

- ①新教育課程による技術教育・家庭科教育の内容と疑問点
- ②技術室・家庭科室の教室環境整備にかかわる問題とその解決策
- ③非常勤講師・免許外教科担当・複数校兼務等の問題とその解決策
- ④作品の評価・試験問題の作成等の評価・評定の扱いにかかわる問題

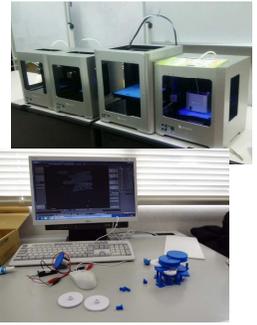


## 【特別講座】 7日(日)13:30~15:30

### 次世代のものづくり教育を考える—3Dプリンタの実演と体験から—

3Dプリンタは2次元のデザインを3次元に造形できる次世代のものづくり機器として期待されています。ものづくりを取り扱う技術・家庭科において、3Dプリンタ・レーザーを使った新たなものづくりや新しい機器への取り組み方をともに考えていきたいと思います。

前半は加工サンプルを紹介しながら、3Dプリンタの基礎的な話、使用説明、デモンストレーションを行います。後半は3Dプリンタを実際に操作しながら、授業に導入したときの効果や課題をグループで検討します。



## 【教材教具発表会】

6日(土)14:40~15:30

手作りの教材や教具の発表会です。実習用教材、演示用の教具、視聴覚教材など、多様なものを持ち寄っての発表です。

発表されたもののいくつかは匠塾(実技コーナー)で製作できます。ぜひ、とっておきの教材・教具をご持参ください。

なお、常時展示コーナーもあります。

## 【匠塾(実技コーナー)】

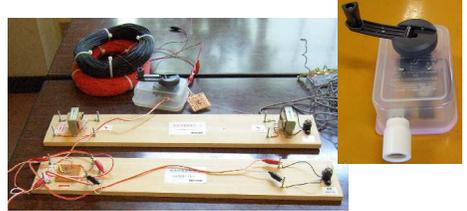
6日(土)15:40~18:00

大会を特徴づけるこのコーナーは、授業にすぐ生かせる教材や教具を作ります。また、実践講座に関連した話をコーナー担当者から直接聞くこともできます。時間いっぱいかけて作るもよし、2つ3つと取り組むもよし。授業のネタや材料をいろいろ仕入れることもできると、よいことづくめ。①~⑦は出店予定。当日持ち込みの出店も歓迎。ただし、製作実費は必要です。

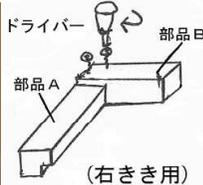
### ①テープカッターの製作 ②テーブルタップの製作とその工夫



### ③送電実験装置(手回し発電機)の製作



### ④のこぎりびきを上手に行う工夫と教具の製作



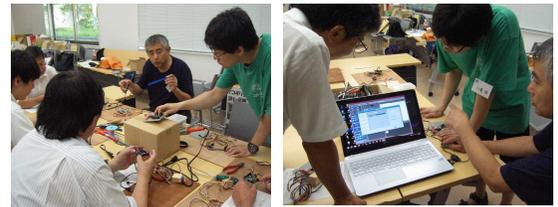
### ⑤手縫いのできるティッシュケースやブックカバー・箸袋



### ⑥ポリ袋を使った簡単パンづくり



### ⑦PC利用によるのこぎりびき制御機器の活用



## 【交流会】 6日(土)18:30~

分科会で話し足りなかったことや聞き漏らしたことなど、参加者がより自由に語り合える場です。若い人も豊富な経験を積んできた人も、遠慮なく気軽に語り合えます。そこから思いもよらぬ発想、展開が浮かぶのではないのでしょうか。軽食をとりながらの交流会です。

事前の申し込みをお願いします。



## 参加者およびレポート発表(提案)・教材教具発表・匠塾出店される方へのお願い

1. 誰でも自由に発表し、討議に参加できます。実践報告、教材・教具の発表、テスト問題の紹介等、多様な提案や資料の提供をお願いします。資料は80部ご用意ください。できるだけ事前の送付をお願いします。
2. レポートや教材・教具等の荷物の送付は、**8月4日(木)配達指定**で、奈良女子大学附属中等教育学校(〒603-8305 奈良市東紀寺町1-60-1 ☎0742-26-2571)吉川裕之 宛にお願いします。
3. レポート発表等を希望される方は、下記大会実行委員会に発表希望分科会とテーマを**8月2日(火)**までにお知らせください。
4. キャンセルまたは変更の場合には、必ず事務局(大会会計)の野本まで連絡ください。
5. キャンセル時の参加費の返金は、資料の発送をもって代えさせていただきます。
6. 申し込みをされた方の氏名・住所等の個人情報(産教連)の活動以外には一切使用しません。

問い合わせ先 大会実行委員会 亀山俊平 〒195-0061 東京都町田市鶴川4-28-5  
TEL 042(734)5052 kame@mbj.ocn.ne.jp

### 申込方法

#### 参加費

全日程参加 4000円(会員 3000円, 学生 2000円)  
一日のみ参加 2000円 ※ ただし、8/5(金)のみの参加は1000円です。  
交流会参加費 3500円 ※ 交流会は準備の都合上、事前予約が必要です。  
宿泊が必要な方は各々手配をお願いします。また、観光シーズンのため、早めのご予約をお勧めします。  
昼食については、会場周辺に飲食店・店舗があります。

#### 申込

産教連 Web ページ <http://www.sankyoren.com> から申し込みのうえ、参加費等を下記口座にお振り込みください。または、下記の参加申込書を事務局へ郵送のうえ、お振り込みください。

#### 振込先

三菱東京 UFJ 銀行港北<sup>こうほく</sup>ニュータウン支店 普通0605258「産教連<sup>さんきょうれん</sup> 全国研究大会」  
申込期日 **8月2日(火)**まで (大会当日も受け付けます)

事務局 野本勇 〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-37-21  
TEL 045(942)0930

## 第65次 技術教育・家庭科教育全国研究大会 参加申込書

氏名 \_\_\_\_\_

住所(都道府県名から記入) 〒  
\_\_\_\_\_

連絡先の電話 \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ e-mail: \_\_\_\_\_

所属(勤務先) \_\_\_\_\_

◆あてはまる項目に○印をつけてください。

参加日： 8/5(金) 8/6(土) 8/7(日) 参加費： 一般 会員 学生 ( \_\_\_\_\_ 円)  
性別： 男 女 交流会： 参加 不参加 ( \_\_\_\_\_ 円)  
振込金合計 ( \_\_\_\_\_ 円)

◆参加予定の分科会に○印をつけてください。(当日に変更してもさしつかえありません)

分科会A： ① ② ③ 分科会B： ① ② ③ ④